

平成 30 年度 放課後等デイサービス「ほしゅっと」評価表 結果報告 【事業所】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	対応・対策
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			中高生が増えてき手狭に感じることもありますが、子ども同士が自然と接点を持つことが出来る広さだと感じています。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		配置基準は当然満たしていますが、新規の受け入れが出来なかったり、遠足に全員では行けないことがあったりと、もっと職員数が確保できれば、活動自体の幅を広げることが出来るのと考えております。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	段差等があります。子どもたちは、日々の生活の中で段差等を経験し体の使い方を学んでいる状況もあります。
業務 改善	④	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			個々の職員から現在の働き方に特に問題はないというご意見を頂いています。個々の支援スキルの向上について日々取り組んでいます。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			利用家庭の評価結果を職員会議で共有し今後の支援について検討しました。
	⑥	この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在行っておりません。
	⑧	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			外部研修への参加支援と研修会参加者からの報告等を共有しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	○			直接処遇にあたる職員からの日々の子どもの様子の聞き取り、相談支援員さんを通して、他事業所での様子の把握等や保護者面談や日々のコミュニケーションでのお話等、様々な角度からその子を把握するよう努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	個別支援のため、標準化されたもので子どもを判断せず、一人一人の願いの汲み取りと育ちの状況を見ています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各職員から担当する子にとってどのような活動が良いかを意見を出し合い、活動内容を組み立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			上記のように各職員からの提案に加え、日々、子どもたちから活動への提案がなされるため、柔軟に子どもたちの充足感につながるよう活動を展開しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			活動時間が長くなるからこそ見えてくることがあるので、その支援内容も子どもの実態に即した形で設定されます。
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	○			個別の時間は設定していませんが、個々の課題を各職員が把握し適宜その子に必要な個別支援を行っております。また、当事業所では個々の“育ちたい”という願いを子どもたちの集団の中で培っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動に入る前に、1時間のミーティングを行い、個々の状況の把握を行っています。また、より深くその子を理解するために職員会議やケース会議を行い職員間で共有しています。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	○			活動終了後は送迎等があり、話をする時間の確保はできませんが、引継ぎ用紙を活用しその子の様子等を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証改善につなげているか	○			各職員限られた時間の中で頑張っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低でも3ヶ月に1度その子の状況を職員会議で確認し、今後の支援について検討を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			関係者会議等には児童発達支援管理責任者が積極的に参加をするようにしています。が、この度の報酬改定で職員の確保が困難状況が生まれており、参加できない場合もあります。
	⑳	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか		○		下校時の引継ぎ等を中心に行っておりますが、個々の先生により、共有が図れる場合とそうではない場合がある状況です。
	㉑	就学前に利用していた保育所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ここ4年、新規の受け入れを行っていません。
	㉒	学校を卒業し福祉サービス事業所へ移行する場合、支援内容の情報を提供する等しているか		○		卒所生についてこれまでの育ちの経緯等をまとめ進路先にお渡しする準備を進めています。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか		○		事業所に直接来ていただくことはしていませんが、研修等で情報を得ています。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	○			特別に設定した活動は行っておりませんが、公園等の外出先で地域のお子さんと一緒に遊ぶ機会があります。
	㉕	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会とつながりがある、狭山市放課後等デイサービス連絡協議会に参加しています。また、埼玉県放課後等デイサービス連絡協議会にも加盟しています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	㉖	日頃から子どもの情報を伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々のコミュニケーションは大事にしています。必要に応じて相談員さんや他事業所の方との情報共有も行ってあります。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時はもちろん、年1回の総会時に確認を行っています。実費負担分の改定等も保護者の皆さんと相談をしています。
	㉘	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	○			助言という大それたことはできませんが、お迎え時や連絡帳等にて保護者の方とお話をさせて頂いています。
	㉙	父母会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○			法人の活動になりますが、親子レクの実施等を行っています。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		保護者の方からの評価にもありましたが、これまでありがたいことに苦情を受けたことがありません。が、言えずにいるとう状況がないように話しやすい関係を築いていきたいです。
	㉛	定期的に会報を発行し活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			広報やブログを通して活動の内容を伝えていきます。
	㉜	個人情報に十分に注意しているか	○			保護者の皆様には、写真の使用等に快くご協力いただき感謝申し上げます。来客時等にも個人名が見えないように配慮を適宜行っています。
	㉝	障害のある子や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			全体と同じ情報伝達では対応が困難な家庭には、個別に伝わる形で行っています。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営をしているか	○			特別に行事を行うことはしていませんが、下校時に地域を歩いていることや広報を配布していること等を通じて、地域の皆さんには「ほしゅっと」の子たち、人たちと知っていただいています。地域の中で活動をしているので、日常的に自然に接点を持っています。
非 常 時 の 対 応	㉟	緊急時対応マニュアル等を策定し職員保護者に周知しているか		○		緊急時マニュアル等はありませんが、保護者の皆さんに詳細は周知していないことや、契約時に伝えるだけで終わっていることがあるので、保護者の皆さんにも定期的に周知を行いたいと思います。
	㊱	非常災害時に備え定期的に避難訓練を行っているか	○			次年度は通報訓練の実施も検討しています。
	㊲	虐待を防止するために職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○			県の虐待研修には人員の都合上なかなか参加できませんが、集団指導等で周知される虐待情報を職員間で共有しチェック項目の確認を行っています。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載しているか	○			個別支援計画に記載しています。

③⑨	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか	○			医師の指示書ではなく、家庭からの指示に基づいて行っています。食材に関してはミーティングで確認し複数体制でチェックをしています。
④⑩	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか		○		集中して取り組む時期がありましたが、最近は引継ぎ用紙やミーティングでの共有でとどまっています。改めて、日々の支援の中でのヒヤリハットの共有を文字に起こして行いたいと思います。

【実施方法】

○対象者：全職員

○検討日：平成31年2月14日

○検討会議：職員会議にて